



一里塚

無所属
久喜市議会議員

田村栄子

討議資料

2022年(令和4年)2月

第51号

久喜市議会
会派フェニックス

連絡所〒349-1117 久喜市南栗橋 5-11-7 TEL 0480-52-8240 FAX 0480-55-1124
<https://ameblo.jp/tamura-eiko-kuki/> <http://tamura-ek2.matrix.jp/>

新型コロナウイルスの変異株で再び流行が到来、感染症第6波となりました。久喜市も感染拡大が続いております。感染抑制のため生活様式なども制限され大変なときですが、呉々も皆さまのご健康をお祈り申し上げます。田村栄子の議会活動をご報告いたします。

期末手当を減額 市長 副市長 議員

国の人事院勧告を受けて民間給与に順じて公務員の給与は決められています。民間の状況を反映し、期末手当が下げられました。特別職で0.15か月分。

子育て世代への臨時特別給付を実行

令和3年度の11月議会は国の政策に変更や追加があり、市の補正予算が組まれました。焦点は子育て世代へ「10万円」の給付の仕方でした。国の決定は遅くなりましたが市はいち早く決定し実行に移しました。

秋谷病院の診療科目は8科目予定 外来・救急も

済生会栗橋病院あとに開院予定の秋谷病院は診療科目は8科目予定です：内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、リハビリテーション科。救急告示病院、二次救急医療機関、労災保険医療機関であり、病床数114床で運営する予定となっています。

一般病床29床、地域包括ケア病床25床、療養病床60床。医院や病院が少ない地元にとっては待ち遠しいものです。

あなたと家族を守るために

洪水前に早くここから脱出！ 広域分散避難を 栗橋は避難所収容人数はわずか！

気候変動で台風・豪雨による洪水発生が予想されます。洪水で栗橋地区は95%は3-5mの水深になると予想され、どう安全に避難するかが問題です。

特に、栗橋地区の避難所には人口の10%しか入れません。市は避難所に来た人は受け入れるといいますが限りがあり過剰人数はバスで2次避難所へ輸送されます。しかし道路が冠水すれば輸送はできず避難所は孤立し補給も難しくなります。水が引くまで2週間以上かかるとも言われています。

栗橋から早めに高い場所への脱出が「自分の命を守る」こととなります。同様の環境にある古河市も東京江東5区も洪水予想時は地域外脱出(立ち退き)を奨励しています。

避難所は諸事情で広域避難できない人に残しておきましょう。

議会一般質問で市に、市民へこれらをお知らせし防災情報の確実な伝達を促してきました。市も行うと回答しました。



(議会一般質問内容より)

いつ避難するか、洪水発生前にゆとりで安全に避難するタイミングが重要。洪水予想日の2日前までに「空振りを恐れず」に明るいうちの避難情報発信を求めました。市は躊躇なく発信すると回答しました。広報くき(R3年9月)には「市からの災害情報を待つことなく避難」とあるが市からの避難情報を待つ人もいます。的確な防災情報の発信を求めます。そのため防災スペシャリストの採用配置も喫緊の課題です。

避難判断は防災行政無線が頼りです。しかし暴風雨時は家の中では聞きとれません。家で聞ける「防災ラジオの導入」と戸別貸出し、現在の無線を聞こえるように改善(合成音等で高音への音声変更等)を市に提言しました。スマホやパソコン等を持たない人に隅々まで伝達に必要です。

なお、久喜市は電話の緊急情報架電サービスを開始、申請により緊急情報を電話で受け取ることができます。

久喜市公共施設の統廃合・新設計画 見直し

施設の統廃合・新設を入れた新総合複合施設計画と久喜市公共施設個別施設計画の中に、現本庁舎は除却し新たに市役所本庁舎機能を集約し保健センター、子育て支援施設も併設した新庁舎建設の計画があり、予算85億円以上で合併特例債を使う予定となっています。

しかし現本庁舎は既に12億円以上かけて耐震化工事をいまだ使えます。コロナ禍で国の財政は逼迫し状況は大きく変わっています。久喜市は特例債“借金”を後世に残して良いのか疑問で見直しを議会で主張しました。

本件はR4年2月議会で見直しする旨の発表がありました。今後は本当に必要な防災等に先ず注力すべき、「初めに建設ありき」ではありません。税金は適切に使うべきです。

本市の障がい者施設は久喜市社会福祉協議会がけやきの木、くりの木を運営し、社会福祉法人啓和会がいちょうの木、あゆみの郷、ゆうあいを指定管理者として市からの委託で運営しています。市はこれらの施設を民間譲渡を掲げました。

しかし受け手がなく引き続きこれらの指定管理者に3年間委託することを議案提出し議会で可決しました。ただ今後も、民間譲渡は民間事業者の独立採算性の壁があり簡単なことではありません。見直しを求めます。

本件を含め計画はR4年2月議会で見直しをする旨の発表がありました。

感染から身を守るには

人ごみを避け、人との接触を極力避けましょう。マスクをしていても接近しての会話は控えましょう。部屋の換気を良くしましょう。マスク着用 手指の消毒励行。咳・くしゃみのエチケットを守りましょう。

暮らしと政治を結びます！

ご意見を賜ります。貴重なる叱責・ご意見を頂き誠にありがとうございます。



田村栄子の議会質問

一部抜粋 構成

議会では、毎回皆様の声を代弁して質問しています。市民の元気につながる質問をしていきたいと考えます。「こんなこと聞いて欲しい」という方はお知らせ下さい。



令和3年11月議会一般質問(12月3日)と令和4年2月議会一般質問(2月7日)に対する市回答の内容です。久喜市の公共施設個別施設計画に関しての質問等は表面に記しました。

新型コロナウイルス感染症の第6波対策を

問 新型コロナウイルス感染症対策として以前から行政によるPCR検査の実施を提言してきた。この度国は無症状の人のPCR検査と抗原検査を無料で実施する方針を固めた。市の積極的対応を願う。
答 埼玉県PCR検査等無料化事業等を実施中。無症状で感染に不安を感じる人は検査事業者登録の薬局やドラッグストア等で無料でPCR検査・抗原検査を受検できる。なお抗原検査キットが不足していることから電話予約の上でPCR検査を案内している状況である。

問 市内公共施設の換気評価に二酸化炭素濃度計設置を。
感染対策で公共施設を利用する際、空気の清浄性は重要。空気清浄機を市が公共施設に取り入れたことは評価される。併せて「換気を行うこと」が示されている。実質的な換気が行われている二酸化炭素濃度が尺度になり部屋の大きさに関係なく1000ppm以下が安全の目安とされている。冬期には利用者が風邪などひかぬよう配慮も要り、施設利用の際十分換気できたかの現場の判断に二酸化炭素濃度計の設置を勧める。如何か。

答 国からの指針として季節を問わず施設は30分に一回の数分間の窓の開閉換気をガイドラインで示されており、二酸化炭素濃度計の設置は考えていない。
意見 ガイドラインを示すだけでは不足。施設の大きさや人数により現場の換気の内容は異なる。安全を期してきちんと濃度をみながら換気を行う方が合理的である。運用は各自治体に任せているはずなので利用者の感染症の現場対策のため対応を望む。

地域医療体制 秋谷病院 南栗橋医療モールは

問 秋谷病院の開院予定・新型コロナウイルス感染症対応等はいかがか。
市民のより良い病院を願い秋谷病院への市の支援の考えを伺う。
答 済生会栗橋病院移転は令和4年6月予定で秋谷病院はその跡地に移転開院となる。診療科目は内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、リハビリテーション科であり、二次救急医療機関および労災保険医療機関として114床で運営予定。新型コロナウイルス感染症対応を行う。感染症が疑われる人の診療・検査を行う医療機関である。外来診療も維持される。市からの支援については具体的な計画が示された時点で考える。

問 南栗橋8丁目の医療モールの見通しはどうか
答 複数の医療関係者からの問い合わせがあり関心はあるが具体的には未だ決まっていない。

環境問題 - プラゴミ 地球温暖化対策への取り組み

問 プラスチックごみ削減への取り組みは。
海洋汚染防止、SDGsの観点のもとより容器包装のプラスチック添加物の人体への影響も危惧されている。今後さらなる啓発と実質的な使用の削減が望まれる。市の取り組み姿勢を伺う。
答 今後もプラスチックごみ削減に向けてリデュース、リフューズ、リユース、リサイクル、リペア5Rの取り組みについて周知すべくホームページの拡充に努めてゆく所存である。

問 地球温暖化対策への久喜市の取り組みについて、重点計画、太陽光発電の公共施設への導入、本市の二酸化炭素排出量推移、家庭太陽光発電の買い取り電力会社構想を伺う。

答 2050年までに温室効果ガス実質ゼロを目指し久喜市ゼロカーボンシティを宣言した。今後太陽光発電の積極的導入、地域新電力会社設立、次世代自動車普及促進について重点的に取り組む。久喜市ゼロカーボンシティ推進本部を立ち上げた。市太陽光発電導入はR2年度末24施設。市の二酸化炭素排出量はH30年度1.3万t、R1年度1.28万t、R2年度1.17万t。第3次久喜市環境保全速戦実行計画の中で、環境に優しい行動、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー、脱炭素へのライフスタイルなどについて市ホームページなどで普及を図る。

災害対策の強化

問 防災行政無線の改善を - 音質改善 防災ラジオ
* 命を守る避難判断のため防災行政情報は重要。市民にメール等でも配信するが、情報弱者にとって防災行政無線は重要。無線はデジタル化されたというが暴風雨時は全く聞き取れなく問題。戸別に聞ける防災ラジオを導入・貸与を考えて欲しい。
* 現状の放送音声を聴こえやすい高い音声にすることを提言する。人の聴感3kHz付近で最高になる。現状の低い声より合成音などで周波数を上げ高音にすれば聴感上大きく聞こえる。
答 気象条件により聞こえ難い場合があることは把握している。新設で投資に多額の費用がかかるので防災ラジオシステムは考えていない。緊急情報架電サービス等複数手段で対応する。放送の音声は検討する。
意見 加須市等も導入しており今後調査検討して欲しい。現状防災行政無線は音質を改善し聞きやすくして欲しい。緊急情報架電サービスは広めて欲しい。

問 栗橋地区の避難所は収容人数が住民の1割で大幅に不足。
* 予算をたて民間企業との協力契約を含め避難所の確保を望む。
答 新公共施設を整備する時に防災の視点を含めて考える。民間との契約は整次第久喜市のホームページで公表する。
* 洪水時は避難所は収容不足しかも水で孤立するので早めの地区外分散広域避難を周知させることが重要、如何か。
答 避難所は感染対策を講じ可能な限り受け入れるが、早めの広域避難を広報やホームページ等あらゆる機会を捉えて周知に努める。

問 早期避難のため洪水が予想される遅くとも2日前までに空振り恐れずに明るいうちに避難情報を出すべき、如何か。
答 躊躇なく明るいうちに避難情報を発令する。

問 避難経路の安全確保は
避難経路が浸水した場合に道路と側溝、歩道と車道、車道と田畑など境界の識別がつかなくなり危険な箇所が多い。境界に目印棒またはバーなどの設置対策を以前提案した。その後の対処は如何か。
答 道路冠水が発生すると道路の状態が確認できず危険。栗橋東中の南道路に歩行スペースを確保し境界にポストコーンを設置した。今後も現地状況に応じた対策を検討して行く。

問 防災DVD～ビデオ(動画)の作成を願う
合併10周年マラソン大会のDVDが作成された。東日本大震災からも10年が経過、「市民の命を守るため」の市民に分かり易い防災ビデオ動画のDVD作成を提言する。古河市は洪水対策の市民向け動画を作成放映、避難の方法がとても分かり易い。
答 災害の都度情報が更新されることから啓発用DVDの作成予定はない。今後新しい情報が市民に伝えられるようにHP主体に動画配信する。なお現在マイタイムライン作成の動画は久喜市HPにある。**意見** 情報が更新されるので作らないは理由にならない；印刷物でも同じである。動画は耳で聞き目で見るので印刷物を見にくい人にも優しい。是非検討願う。

問 防災用移動車載トイレカーの導入を願う。災害時トイレが使えない場合やプライバシー保護のため必要。現在消防署に1台ある。車載トイレを複数台導入して欲しい。
答 車載トイレは災害時各避難所に移動活用できるほか平常時に各種イベントで使い種々の運用が考えられる。維持管理・人員確保の課題もあるので今後導入自治体の事例を調査研究したい。移動ラップ式災害用トイレの整備を既存簡易トイレとともに進める。

暮らしと政治を結びます！